



令和4年度 当初予算の概要

伊豆市

1 予算の規模

全会計

(単位:百万円、%)

区分	R4当初	R3当初	増減	伸率
一般会計	21,430	21,869	▲439	▲2.0
特別会計	8,500	8,378	122	1.5
企業会計	2,602	2,532	70	2.8
合計	32,532	32,779	▲247	▲0.8

一般会計は合併以降2番目の規模、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計は最大規模の編成。



1-1 歳入の特徴(一般会計)

(単位:百万円)

区分		R4当初 A	R3当初 B	増減 A-B
自主財源	市税	4,055	3,842	213
	寄附金	1,000	800	200
	繰入金	1,443	1,310	133
	その他	1,250	1,168	82
依存財源	地方交付税	5,183	4,286	897
	国庫支出金	2,338	1,832	506
	県支出金	1,308	1,247	61
	市債	3,679	5,971	▲2,292
	交付金等	1,174	1,413	▲239
合計		21,430	21,869	▲439

【市税】 +2億1,300万円

・中小事業者等に対する特例軽減措置の終了に伴う固定資産税の増

【地方交付税】 +8億9,700万円

＜普通交付税＞前年度交付実績と国の地方財政対策により増

＜特別交付税＞東京2020大会関連経費など特殊事情の減

【国・県支出金】 +5億6,700万円

＜国庫支出金＞新中学校整備事業や松原公園津波避難複合施設整備に伴う増

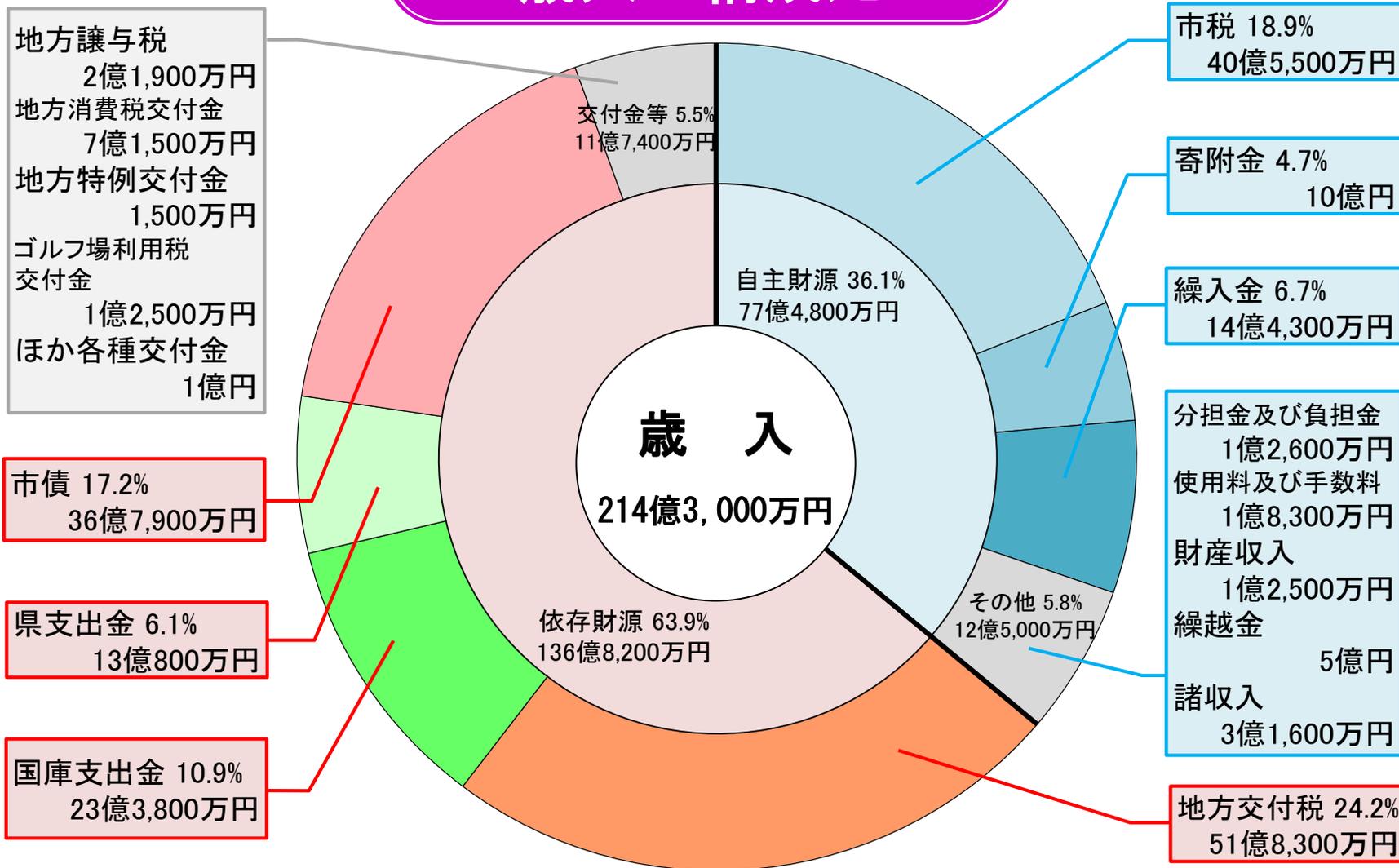
＜県支出金＞観光施設整備事業補助金や林業・木材産業構造対策事業補助金などの増

【市債】 ▲22億9,200万円

・広域廃棄物処理施設整備事業負担金の減や国の地方財政対策に基づく臨時財政対策債の発行抑制により減



歳入 構成比



1-2 歳出の特徴(一般会計)

(単位:百万円)

区分		R4当初 A	R3当初 B	増減 A-B
経常的経費	人件費	2,969	3,037	▲68
	扶助費	2,372	2,298	74
	公債費	1,777	1,680	97
	その他(経常的経費)	7,209	7,922	▲713
投資的経費	補助事業	2,546	543	2,003
	単独事業	1,915	3,733	▲1,818
	災害復旧費	1	126	▲125
その他		2,641	2,530	111
合計		21,430	21,869	▲439

【人件費】 ▲6,800万円

・包括的アウトソーシングの開始と人事院勧告に基づく給与改定による期末勤勉手当の減など

【公債費】 +9,700万円

・H30年度実施事業(新こども園建設事業、道の駅整備事業)の財源とした市債の元金償還の開始に伴う増

【その他(経常的経費)】▲7億1,300万円

＜補助費等＞広域廃棄物処理施設整備事業に係る伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合負担金の減

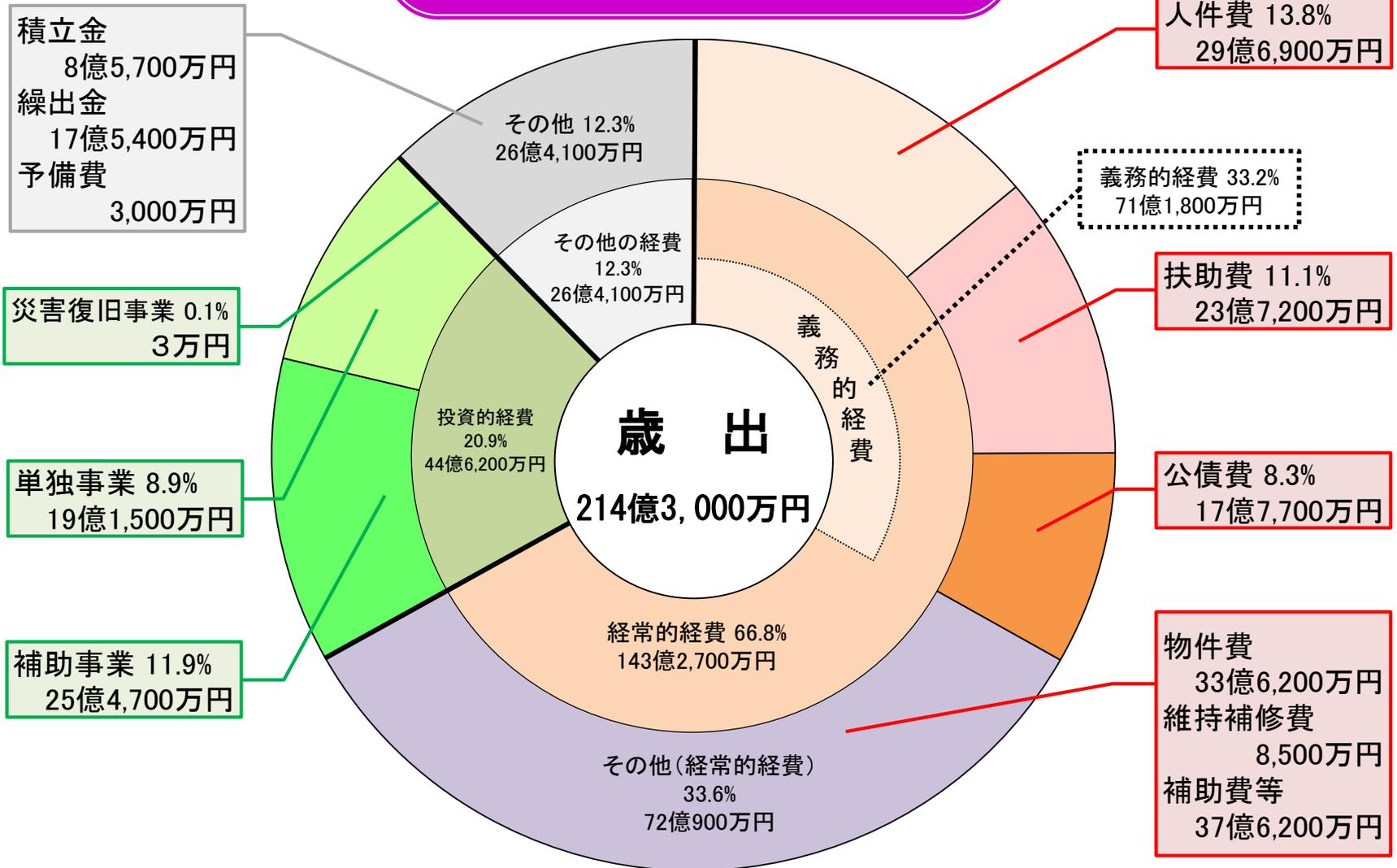
【投資的経費】 +6,000万円

＜補助事業＞新中学校整備や松原公園津波避難複合施設整備、(仮称)日向公園整備事業費の増

＜単独事業＞デジタル同報系防災行政無線整備工事費の減



歳出(性質別) 構成比



2 重点的な取組み

持続可能な市政運営に向けて

～第2次伊豆市総合計画後期基本計画を着実に推進するための
予算編成～

総合計画の基本方針として掲げた2本柱を軸に
持続可能な市政運営に向けて戦略的に施策を推進

●第2次伊豆市総合計画後期総合計画における基本方針

1. 本格的な人口減少社会の到来に 向けた戦略的対応

- ・加速する人口減少を抑制するための施策の推進
- ・人口減少が進む中においても都市機能を維持するための施策の推進

2. 将来にわたる安定的な行財政 運営の堅持

- ・収納率の向上や「稼ぐ力」の強化による安定的な財源の確保
- ・事務事業の見直しやデジタル技術の活用による市民生活の利便性向上や業務の効率化



第2次総合計画の体系

持続可能な市政運営

本格的な人口減少社会に向けた戦略的対応

人口減少抑制戦略

人口減少適応戦略

将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

重点目標

1. 少子化対策と次代を担う人材の育成

2. 安全で心地よい生活環境の創出

3. 産業力の強化

4. まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

5. 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

6. 将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

政策

結婚から子育てまで切れ目ない支援

教育の充実

福祉・医療の充実

安全・安心なまちづくりの推進

地域産業の発展による市内経済の活性化

豊富な農林水産資源の再構築

人の流れを呼び込む魅力的な暮らしの実現

伊豆市に住むことの愛着や誇りの醸成

未来を切り拓くためのまちづくり

地域力の向上

安定した歳入の確保

徹底した歳出の抑制



3 重点事業

重点目標1 少子化対策と次代を担う人材の育成

結婚から子育てまで切れ目ない支援

【新規】出会い・婚活支援事業 337万円

- ・県が設立した『ふじのくに結婚応援協議会』が実施するAI婚活事業への参画【新】
- ・民間のノウハウを活用した婚活イベントの実施
- ・婚活イベント等を実施する事業者に対する補助

★【新規】助産施設整備補助事業 250万円

- ・市内助産施設の整備・改修を行う事業者に対する補助

★【新規】妊産婦サポート事業 137万円

- ・市内助産施設と連携し、希望する妊産婦に担当助産師を紹介するほか、継続した個別ケアによる寄り添い支援を実施



【新規】年度途中入所サポート事業 312万円

- ・年度途中の0～2歳児の入所希望に対応するため、私立こども園・保育園に対し、保育士配置に係る経費を補助

【新規】移住定住促進事業 5,869万円

- ・新婚夫婦が市内に居住する際の引越し費用、リフォーム費用等を補助【新】
- ・若者定住促進補助金、ひとり親移住定住促進補助金、お試し住宅の運営



教育の充実

★新中学校整備事業 11億8,676万円

- ・修善寺中・中伊豆中・天城中の3つの中学校を統合した新中学校の建築、造成工事

【新規】^{エドテック}“EdTech”教育推進事業 170万円

- ・小学校5・6年生を対象とした「カラオケEnglish」を活用した授業や自宅学習の実施【新】
- ・一人ひとりの学習結果から最適な問題や教材を自動構成するAIを活用した学習用ソフトの活用 など

外国語指導助手派遣事業 3,580万円

- ・市内小中学校に1日単位でALTを配置し、授業だけでなく休み時間や給食の時間も英語に触れる機会を確保



▲新中学校(完成イメージ)



▲“EdTech”教育(学習イメージ)



▲中伊豆小学校児童待合所設置箇所

【新規】児童待合所創出事業 678万円

- ・修善寺南小学校内及び中伊豆小学校周辺の空き公共施設に、児童がバスや親の迎えを待つための児童待合所を整備

【新規】土肥地域高校魅力化支援事業 472万円

- ・伊豆総合高校土肥分校下宿者への下宿費補助
- ・(一財)地域・教育魅力化プラットフォームを活用した「地域みらい留学」による県外生徒の募集【新】

重点目標2 安全で心地よい生活環境の創出

福祉・医療の充実

★公的病院移転新築補助事業 6億円

- ・リハビリテーション中伊豆温泉病院の移転新築事業に対する補助

【新規】居場所づくり支援事業 255万円

- ・高齢者や障害者等のための居場所づくり、運営の支援
- ・住民主体による通いの場(わがまち居場所)マップの作成、活用【新】

【新規】生活習慣病重症化予防事業 556万円

- ・特定保健指導の対象者に対し、それぞれの人に対応した運動や生活習慣改善メニューによる重症化予防教室を実施



▲リハビリテーション中伊豆温泉病院の完成イメージ

★【新規】要支援者災害時避難事業 156万円

- ・災害時に1人で避難することが困難な要支援者に対し、避難行動計画を個別具体的に作成
- ・要支援者が安心して避難できるよう避難所における備品を整備

新型コロナウイルスワクチン接種事業 1億2,240万円

- ・新型コロナウイルスワクチン3回目接種の実施



安全・安心なまちづくりの推進

★松原公園津波避難複合施設整備事業

6億5,640万円

- ・防災機能と観光機能を併せ持った津波避難複合施設の整備工事

★(仮称)日向公園整備事業 4億4,482万円

- ・日向地区における防災機能を兼ね備えた公園の整備に係る土地購入、造成工事
- ・(仮称)日向公園への防災倉庫建設に向けた土地購入、実施設計



▲(仮称)日向公園(完成イメージ)

広域廃棄物処理施設整備事業 10億233万円

- ・伊豆市と伊豆の国市が共同で整備する新廃棄物処理施設の建設、運営負担金



▲広域廃棄物処理施設(完成イメージ)

新リサイクルセンター整備事業 1億9,818万円

- ・清掃センター跡地に整備する新リサイクルセンターの設計、建設
- ・新リサイクルセンター進入路の整備に向けた用地測量、詳細設計
- ・新廃棄物処理施設の整備に伴い廃止される清掃センターの解体撤去に係る事前調査、仕様書作成

【新規】カーボンニュートラル促進事業 100万円

- ・家庭における電気の自給自足を促進するための住宅用蓄電池システムの設置に対する補助

重点目標3 産業力の強化

地域産業の発展による市内経済の活性化

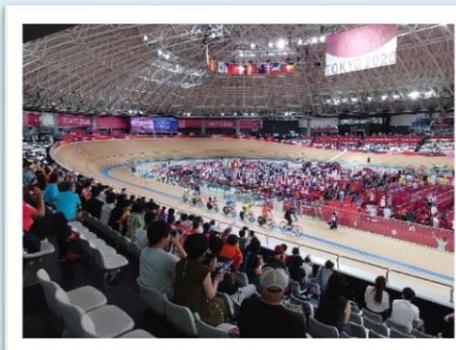
★【新規】東京2020レガシー創出事業

2,598万円

- ・オリパラ競技会場の聖地化に向けた市民のサイクルスポーツセンター利用促進
- ・自転車を活用したまちづくりに向けた拠点整備や自転車に乗れる率100%を目指す取組

【新規】伊豆市版DMO事業 2,944万円

- ・国の補助制度を活用して施設改修・廃墟の撤去等を行う事業者を支援【新】
- ・DMOによる観光コンテンツの造成・商品化、ガイド育成 など



東京2020大会の様子

◀ (伊豆ベロドローム)

▼ (MTBコース)



【新規】企業誘致マッチング推進事業 891万円

- ・サテライトオフィス誘致戦略の策定
- ・マッチングイベント等への出展

★【新規】事業承継支援事業 200万円

- ・事業承継を支援するため、市内金融機関と連携し、セミナーや勉強会の開催、相談窓口を設置するほか、事業承継に要する各種費用を補助

創業者等支援補助事業 490万円

- ・市内で事業を営む方に対し、事務所の家賃経費や設置工事費の一部を補助



豊富な農林水産資源の再構築

【新規】水産業振興補助事業 100万円

- ・水産業に係る環境保全や水産資源の育成のための事業を行う団体に対する補助

【拡充】森林整備補助事業 3,163万円

- ・森林環境譲与税を活用した間伐や森林施業の効率化を促進



▲森林整備施業の様子



▲山間地に広がるわさび田

【新規】大平中間土場整備事業 7,584万円

- ・大平地区における木材の貯木施設を整備するための費用を助成(国県補助事業)

★**【新規・拡充】わさびの郷構想推進事業 1,793万円**

- ・「伊豆わさび」の地理的表示保護制度(GI)登録の推進【新】
- ・わさび資料館整備に向けた実施設計【新】
- ・青年等就農資金等制度を活用したわさび栽培の担い手確保【拡】
- ・苗の安定供給支援 など

重点目標4 まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

人の流れを呼び込む魅力的な暮らしの実現

★【新規】^{移住}「Izu you Connect」事業 220万円

- ・先輩移住者を『Izu you (移住) サポーター』として委嘱し、移住定住やシティープロモーションを促進するためのネットワークを形成

★【新規】^{伊豆キャンどっと混む}「IzuCamp.comProject」事業 600万円

- ・コロナ禍で急速に伸びつつあるキャンプブームを追い風に『キャンプ王国・伊豆市』を目指し、市内の豊富な地域資源を活用しつつ、ポスト(ウィズ)コロナ時代の伊豆市の新しいまちづくりを推進

【拡充】地域おこし協力隊推進事業 3,766万円

- ・企画部門、農業振興部門、林業振興部門において地域おこし協力隊を活用し、地域の活性化や産業振興を推進



★【新規】修善寺拠点創出事業 1,070万円

- ・修善寺駅前の空き店舗を活用し、民間事業者によるワーケーション、テレワーク、ICT活用スペース等の機能を有するコワーキング拠点整備を支援

空き家リフォーム補助事業 300万円

- ・空き家バンクの利用促進や空き家リフォームのための補助

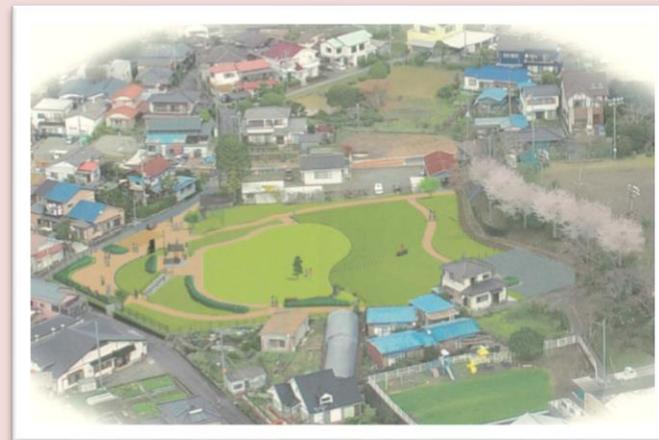
伊豆市に住むことの愛着や誇りの醸成

文学の郷づくり関連事業 470万円

- ・上の家活用事業負担金
- ・旧営林署跡地広場管理業務委託
- ・湯ヶ島地区魅力アップ育成講座の実施

【新規】美術館建設推進事業 384万円

- ・美術館建設推進委員会の開催
- ・所蔵美術品の展示方法など有効な活用に向けた計画を策定【新】



▲湯ヶ島地区 営林署跡地に整備中の公園(完成イメージ)



▲ふるさと学級の様子

【新規】実学教育支援事業 83万円

- ・地域で活躍する人材や外部のプロフェッショナル人材による多様な生き方を学ぶ機会を創出

【拡充】ふるさと学級事業 62万円

- ・小学校4～6年生を対象として、伊豆市ならではの自然や歴史を学ぶ講座を開催
- ・いづっこサポーターの養成

重点目標5 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

未来を切り拓くためのまちづくり

立地適性化計画策定事業 480万円

- ・修善寺駅前、八幡、青羽根、土肥等における住宅や都市機能を誘引するための立地適正化計画(案)の策定

【拡充】狩野川記念公園遊具更新事業 826万円

- ・老朽化した狩野川公園の遊具を更新



▲牧之郷駅周辺整備(完成イメージ)



▲狩野川公園の遊具(更新前)

★ 牧之郷駅周辺整備事業 1億7,936万円

- ・牧之郷駅周辺における交通広場・緑地広場、生活道路等を整備

【新規】民間宅地開発等支援事業 1,500万円

- ・拠点性の高いエリア等への民間事業者による宅地開発を誘導するため、宅地造成に係る道路や調整池の整備費用を補助

地域力の向上

【拡充】地域づくり交付金事業 6,548万円

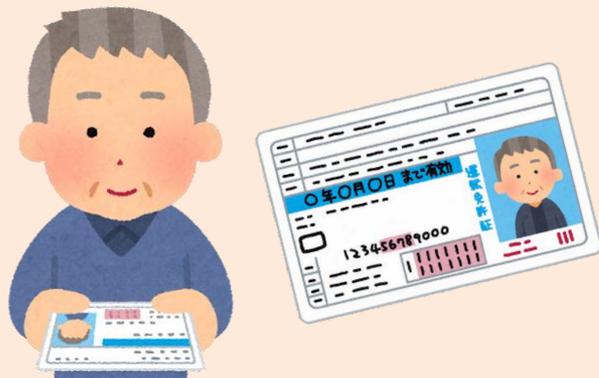
- ・地域の賑わい創出に寄与する事業を実施する地域づくり協議会への交付金

【拡充】バス路線維持事業 1億4,243万円

- ・市自主運行バスやバス事業者の不採算路線の運行経費を補助



▲生活バス路線の維持



交通利用助成事業 9,530万円

- ・高齢者割引乗車証(いきいきパス)の購入補助
- ・小中学生の通学費補助、高校生のバス通学に対する補助
- ・障害を持つ方へのタクシー・バス等の助成利用券の交付
- ・在宅高齢者へのタクシー・バス等の助成利用券の交付

【新規】運転経歴証明書発行手数料 助成事業 11万円

- ・65歳以上の市民が運転免許証を自主返納した際の運転経歴証明書の発行に係る手数料を助成

重点目標6 将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

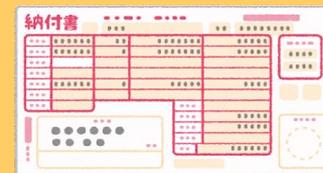
安定した歳入の確保

【拡充】収納対策強化事業 1,261万円

- ・滞納整理対策強化チームのスキル向上に向けた実務研修
- ・滞納者電話催告の実施 など

【新規】地方税共通納税対応システム改修事業 1,095万円

- ・全国統一規格のQRコード納税に対応するためのシステム改修



【拡充】ふるさと納税促進事業 4億3,063万円

- ・ふるさと納税ポータルサイトの魅力化
- ・都営地下鉄各線へのPRポスター掲出

【新規】戦略的プロモーション事業 1,061万円

- ・合併20周年(令和6年度)に向けた市のシンボルとなるブランドメッセージ、ロゴマークの作成
- ・プロモーション動画の作成



徹底した歳出の抑制

【新規】公共施設の解体・跡地活用検討事業 **9,263万円**

- ・旧橋保育園跡地の一体活用に向けた教職員住宅の解体
- ・旧さくらこども園の園舎解体、跡地活用の検討
- ・旧八岳小学校校舎・体育館・プールの解体、改修のための設計委託
- ・市営住宅東原団地の解体設計委託

★**【新規】包括的アウトソーシング事業** **1億7,700万円**

- ・窓口業務や事務補助業務等の包括的アウトソーシングの実施
- ・公共施設の保守管理業務の包括的アウトソーシングの実施



▲旧橋保育園跡地と隣接する教職員住宅



【新規】ホームページリニューアル事業 **1,683万円**

- ・市民が見やすく検索しやすいホームページへの全面リニューアル

- ★**【新規】自治体DX推進事業 2,775万円**
- ・子育てや介護等における行政手続きのオンライン化
- ・行政事務の効率化を図るためのAI・RPAシステムの導入

4 組織の改編

●デジタル戦略スタッフを新設

- 自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)を重点的に推進するため、総合政策部地域づくり課「情報化推進スタッフ」を「デジタル戦略スタッフ」に改称し、行政手続のオンライン化による市民サービスの向上とAI・RPAの活用による行政事務の効率化を図ります。
- 自治体DXに適切に対応するため、総合政策部に、ICT分野の高度な専門人材「CIO補佐官(仮称)」を配置します。(CIO=Chief Information Officer)

